

令和五年 6 月 31 日

関係者 各位

本年 9 月 30 日に実施予定である海外の火縄銃研究者との意見交換会について、次のとおり中間的な情報共有をいたします。御意見や提案等があれば幸いです。

企画者 金山城伊達・相馬鉄砲館
館長 遠藤 稔

海外の火縄銃研究者との意見交換会の企画について(中間報告)

本年 9 月末に金山城伊達・相馬鉄砲館当館へ次の海外の火縄銃研究者 2 名が見学に訪れます。

- ① 氏名 サミュエル・ワイアット・ビーチ
国籍 アメリカ合衆国 住所 アメリカ合衆国インディアナ州
- ② 氏名 安達裕陽士
国籍 日本 住所 カナダマニトバ州

両名は、フェイスブック上で会員 1238 人を擁する「日本の火縄銃研究会」を立ち上げ、日本の火縄銃と日本文化を熱心に発信している研究者です。

この両名の当館の見学に際し、両名と国内の火縄銃研究者や演武団体関係者との意見交換会を行ないたく企画中です。本意見交換会は、本年 9 月 30 日に宮城県丸森町で実施する予定で準備を行なっております。その詳細は、下記のとおりです。

記

開催日時 令和 5 年 9 月 30 日午後 2 時より午後 8 時まで。(懇親会を含む)
開催場所 あぶくま荘 宮城県伊具郡丸森町字不動 50 - 5 電話 0224-72-2105
主催者 金山城伊達・相馬鉄砲館
後援 あぶくま振興公社, 株式会社 GM7

日程及び意見交換会の詳細等は次のとおり

9 月 30 日

- 午後 2 時からあぶくま荘大ホールで海外からの研究者を囲んで意見交換会を行う。この意見交換会の名称は、『鉄砲伝来 480 周年記念事業 日本の火縄銃フォーラム in 丸森』とする。但し現時点では仮称である。
イ 『日本の火縄銃フォーラム in 丸森』の目的

- A 海外の火縄銃研究者らが、日本の火縄銃の情報にアクセスしやすい環境を作るとともに、日本の火縄銃関係者との親交を図る。
- B 参集した日本の火縄銃関係者間の連携連絡を深め、本フォーラムでの意見交換結果を共有する。
- C 現段階の出席者は次のとおり。(現時点においては 17 名)
- 海外からの研究者
- サミュエル・ワイアット・ビーチ(アメリカ)
 - 安達裕陽士(カナダ在住の日本人)

日本の研究者等

- 議長 須川薫雄(陸上自衛隊土浦武器学校アドバイザー)
- 福島県ライフル射撃協会長 佐藤安弘
- 芦北鉄砲隊長(熊本県) 平江大八
- 相馬中村藩古式砲術(福島県) 佐藤達雄
- 会津新選組記念館長兼会津藩鉄砲隊(福島県) 高橋一美
- 米沢藩古式砲術保存会(山形県)
- 上杉砲術隊(山形県)
- 森重流砲術伝承会(山形県)
- 片倉鉄砲隊(宮城県)
- (財)日本銃砲史学会理事 高橋達郎
- 関東在住の有名火縄銃コレクター 山口他 1 名
- 銃砲史学会 O.B 和田克己
- 相馬中村藩古式砲術 佐々木 健
- 金山城伊達・相馬鉄砲館長 遠藤稔

備考 本日時点での出席者は 17 名である。五葉山火縄銃鉄砲隊伝承会など三団体からは、まだ参加連絡はない。仙台藩遠藤家 花山鉄砲組からは不参加連絡があった。また財団法人日本銃砲史学会の 6 月 10 日の例会で会員の参加を促したとの連絡があった。

- ロ 『日本の火縄銃フォーラム in 丸森』の協議進行次第
- 午後 2 時 会式 開会挨拶 金山城伊達・相馬鉄砲館館長
- 基調講演 講師 須川薫雄
- 演題 鉄砲伝来と日本人(現時点では仮題)約 40 分
- 午後 2 時 45 分 意見交換会開始
- 午後 4 時 15 分 意見交換会終了

午後 4 時 15 分 閉会挨拶 相馬中村藩古式砲術 佐藤達雄会長

懇親会まで休憩。時間に余裕があれば入浴可

午後 5 時 懇親会開始

午後 8 時 懇親会終了

ハ その他

本フォーラムには、あぶくま振興公社及び株式会社 GM7 から後援をいただいた。今後さらに後援団体の参加を呼びかける予定である。多数の協議参加者が見込まれるため会場となる宮城県伊具郡丸森町のあぶくま荘を貸し切り、同施設が有する 40 人以上の宴会収容力のある大ホールをフォーラム会場に借りることにし、一般の聴衆者席を設けることとした。

- 2 翌 10 月 1 日は、相馬市の相馬神社で、相馬鉄砲隊の公開演武を見学。意見交換会出席者は、公開演武の見学については自由参加。案内等は金山城伊達・相馬鉄砲館長が行なう。

申し込み締切日：令和 5 年 8 月 31 日（木）

問い合わせ・連絡先：日本銃砲史学会 理事 高橋 達郎

TEL:090-4716-0657

E-mail:takahashi@trm.jpn.com